

## 平成 25 年 度

### 第 1 回 輪島市子ども・子育て会議 議事録(要約)

会議日時 平成 25 年 12 月 18 日(水) 15:00～

会 場 輪島市役所 4 階 第 1 会議室

#### 出席者

委員	沢田	悦子
委員	藤山	壺史
委員	板谷	玲子
委員	刀裨	洋子
委員	久保	敬夫
委員	瀬例	有子
委員	稲木	強
委員	大畑	明久
委員	鬼平	恵子
委員	山上	幸美
委員	大工	ゆき子
委員	大塚	日出子
委員	高森	百合子
事務局	北浜	陽子
事務局	田中	昭二
事務局	棟	信子
事務局	古坂	一正

#### 次 第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介・事務局紹介
4. 会長の選出
5. 議件 (1)子ども・子育て会議の概要について  
(2)子ども・子育て支援新制度の概要について  
(3)ニーズ調査について  
(4)その他
5. 閉会

## 会議内容の要約

### 1. 会長の選出

#### 委員からの意見

- （社福）町野福祉会の福田さんを推薦したい。理由は、児童の健全育成に寄与しており、民間の立場でも子育て環境に精通しているため。  
→異議なし

### 2. 「輪島市子ども・子育て会議の概要」、「輪島市子ども・子育て支援新制度」、「ニーズ調査について」

#### 事務局からの説明

- 「輪島市子ども・子育て会議の概要」、「輪島市子ども・子育て支援新制度」、「ニーズ調査について」について説明。

#### 委員からの意見

- 調査表の問 12、13 の地域子育て拠点事業について、回答したのは未就学児の家庭だと思うが、それでは 10 歳から 20 歳くらいまでの子どもが使っていないように見える。このため、ニーズが少ないと思われ支援金が減らされては困るので、考察等で但し書きをしてほしい。

#### →事務局回答

対応する。

- 今回の調査は就学前とのことだが、今回の計画は就学前の児童は範囲に入らないのか。

#### →事務局回答

今回、就学前の子どもたちを調査させていただいたが、今の時点で 5 歳児の子どもたちは平成 27 年度に小学校 1 年生になる。同年 4 月から 5 年間の計画を立てたいと思っているので、小学生に上がっている子どもたちのことも考えながら、この計画を立てていただきたい。

- 現段階で学童保育等の利用状況等のデータはどうなっているか。

#### →事務局回答

学童保育の利用状況については、特にアンケートをとらなくても資料をそろえることができる。

●このニーズ調査で、なぜ問7の(1)または(2)で「5」、「6」を選択した人でないと、問9で「子育てや家事に専念したい」を回答できないのか。

→事務局回答

輪島市では、国から示されている必須項目を中心に調査項目を作成したため。

●他市町村では、子ども・子育て会議で諮ってからニーズ調査を行っていると聞くが、なぜ会議を開催しないで調査を行ったのか。

→事務局回答

「子ども・子育て会議」を立ち上げるべく条例を制定したのが9月議会で、年度内に計画の骨格的なものを作成しなければならず、委員会を立ち上げる前に調査にかからないと時間的に間に合わないという状況でもあり、国から示されていた必須項目での事前の調査となったので、ご了承願いたい。

●幼保一体教育を制度化するために会議を開いているのか。

→事務局回答

今後の輪島市において、どのような計画を立てていくか議論していただき、全国一斉に計画を立てることになっている。

●課題3-1のなかに「小規模保育などの地域型保育への財政支援を行う」とあり、「輪島市子ども・子育て新制度について」の中にも「家庭的保育事業」「小規模保育事業」「居宅訪問型保育事業」「事業所内保育事業」と書いてあるが、輪島市ではすでにイメージがあるので書いてあるのか、それともまだイメージがないが書いているのか。

→事務局回答

今のところ、誰かが何かをやってくれるというイメージはない。

●パンフレットの課題3-2で「保育施設などの安定的な運営をする」と書いてあるが、保育の資格をもった方が少なくて足りないということが実際ある。保育士の確保ということやそういった視点も大事ではないか。

→事務局回答

確かに、働いていただく人材がいけないという現状があり、大変なことになっている一面もある。